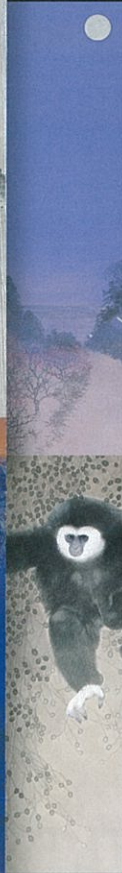




現代日本画の最高峰、広島に集結!!



下田義寛  
竹内浩一  
田渕俊夫  
牧進

日本画の伝統と未来へ

# 星回生會展

辰雅

exhibition of Sei sei kai

2014年

4月17日[木]▼5月25日[日]

午前9時～午後5時(金曜日は午後8時まで) 会期中無休  
4月17日は午前10時から ※入場は閉館の30分前まで  
会場 / 広島県立美術館 2階展示室

◎主催 / 広島県立美術館、中国新聞社、星星會展実行委員会  
◎後援 / 中国放送、広島テレビ、広島ホームテレビ、テレビ新広島、  
広島エフエム放送、FMちゅービー76.6MHz、

エフエムふくやま、尾道エフエム放送、FMはつかいち76.1MHz

名勝「縮景園」とともに歩む アートの社

広島県立美術館  
Hiroshima Prefectural Art Museum





# 星屋會

展

exhibition of Sei sei kai

## 星屋會、5回すべての作品が一堂に会す巡回展

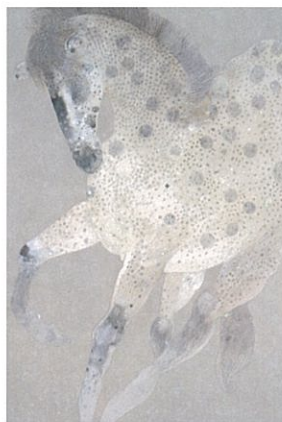
星屋會展は、2005年に第1回を開催し、以降隔年で展覧会を開催。8年間の活動期間を経て第5回展をもつてその活動を終了したグループ展です。メンバーは下田義寛、竹内浩一、田淵俊夫、牧進の四氏で、自由な立場で創作活動に邁進し、新作の大作を中心に発表してきました。同世代の作家がその所属団体を越えて活動し、緊張感を持って新たな日本画の世界に挑戦する非常に意欲的な試みでした。「星屋會」と命名したのは、現代日本画の巨匠・高山辰雄で、「小さな星でも切磋琢磨によって大きな星として輝くようになる」ことを願ってこの名を付けた、とのこと。

現代の日本画界をリードしてきた高山辰雄や平山郁夫といった大家が鬼籍に入り、我が国の文化芸術のあり方が改めて問われる状況にあります。その一種の危機感の中で、この星屋會のメンバーが、更に豊かな美の世界を創造し、画壇の牽引役として、一層その存在感を増していくことが期待されます。

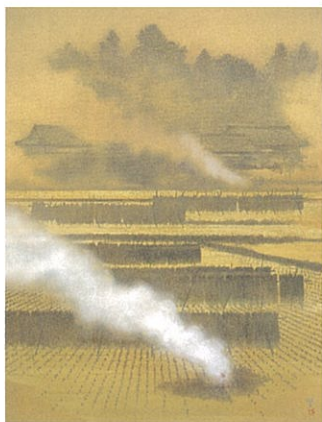
星屋會の掉尾を飾る記念展となる本展覧会では、各回の星屋會展出品作約70点を一堂に展示するとともに、会の命名者である高山辰雄の代表的な作品2点もあわせて出品します。現代日本画が到達した一つのスタンダードをお楽しみいただけるまたとない機会です。心ゆくまで鑑賞ください。



「聴春」 116.7×90.9cm



「花回る」 142.0×97.0cm



「好日」 116.7×90.9cm



「関」 145.5×112.1cm

## 牧進 田淵俊夫 竹内浩一 下田義寛

Susumu Maki

1936年東京都生まれ。1952年川端龍子の内弟子となり、1957年青龍社第29回展に初入選、受賞を重ねるが、1966年師の逝去で青龍展は解散、以後無所属作家として個展を中心に制作発表、卓抜の表現力で日本の四季を瑞々しく豊かに形象し続ける。川端康成の知遇を得、川端康成文学賞表彰状に添える作品を毎回制作する。

Toshio Tabuchi

1941年東京都生まれ。1965年東京藝術大学美術学部絵画科(日本画)を卒業、1967年東京藝術大学大学院修士課程を修了。1968年再興第53回院展に初入選。1970年平山郁夫に師事、愛知県立芸術大学に赴任。1985年日本美術院同人となる。1995年東京藝術大学教授となる。日本美術院代表理事、東京藝術大学名誉教授、愛知県立芸術大学客員教授。

Koichi Takeuchi

1941年京都府生まれ。1960年京都市立日吉ヶ丘高校(現、銅駝美術工芸高校)日本画科を卒業、1966年画家を志し山口華楊に師事。翌1967年日展に初入選、日春展や京展に出品を続ける。動物や草木をテーマに淡い色合いに律動感ある独自の世界を築く。1997年京都市文化功労賞を受賞。2002年京都市立芸術大学美術学部教授となる。

Yoshihiro Shimoda

1940年富山県生まれ。1963年東京藝術大学美術学部絵画科(日本画)を卒業。郷倉千叔に師事、同年再興院展に初入選。1965年同大学大学院修士課程を修了。1971年第1回山種美術館賞展で大賞を受賞。1978年日本美術院同人となる。1980年東京藝術大学助教授となる。1995年倉敷芸術科学大学教授となる。日本美術院同人、倉敷芸術科学大学名誉教授。

### 記念講演会(広島県立美術館友の会共催)

#### 「日本画の伝統と未来」

講師：田淵俊夫(日本画家、日本美術院代表理事)

日時：4月27日(日) 13:30～

場所：地階講堂

※聴講無料。申込不要(先着200名)

#### ギャラリートーク

日時：4月18日(金)、4月25日(金)、5月2日(金)、5月9日(金)、

5月16日(金) 15:00～/18:00～

場所：2階展示室

※星屋會展入館券が必要です。申込不要

### ワークショップ(平山郁夫展との共同企画)

#### ①「日本画の画材で塗り絵をしよう！」

講師：廣藤良樹(日本画家、日本美術院院友)

日時：5月6日(火・祝) 13:30～

場所：3階ロビー

対象：小・中学生(保護者同伴可)

#### ②「日本画の画材でブックカバーをつくろう！」

講師：廣藤良樹(日本画家、日本美術院院友)

日時：5月11日(日) 13:30～

場所：3階ロビー

対象：一般(高校生以上)

※ワークショップは事前予約制

※詳細は当館にお問い合わせいただくか、ホームページをご覧ください。

### ウェブ・レポーター大募集

インターネットで情報配信をされている方に星屋會展をご鑑賞いただき、その素敵な感想をインターネットを通じて、情報発信していただきます。もちろん、ウェブ・レポーターとして当日ご参加いただく方は、無料で星屋會展をご鑑賞いただけます。

日時：4月18日(金) 17:00～18:30

受付場所：2階ロビー

実施場所：2階展示室

対象：ホームページ、ブログ、ツイッター、フェイスブック

などで情報を配信されている一般の方

特典：実施当日限り、星屋會展にご招待

一般：800円(前売・団体600円)  
高・大学生：500円(前売・団体300円)  
中学生以下無料

※団体料金は20名以上 ※学生証要提示 ※身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳、戦傷病者手帳所持者と介助者(1名まで)の当日料金は半額。※前売券は広島県立美術館、セブン・イレブン(セブンコード:028-316)、広島市・呉市内の主なプレイガイド、画廊・画材店、書店、ゆめタウン、フジ、中国新聞社読者広報部、中国新聞各販売所(取り寄せ)などで販売しています。

### 同時開催 平山郁夫の代表作も集結!!

#### 平山郁夫展 4月8日(火)～6月1日(日)

3階企画展示室

平山郁夫展とのセット券(一般のみ)1,200円

※セット券は、広島県立美術館のみ販売(4月6日(日)まで)

名勝「縮景園」とともに歩む アートの杜

**広島県立美術館**  
Hiroshima Prefectural Art Museum

〒730-0014 広島市中区上機町2-22  
Tel: 082-221-6246 Fax: 082-223-1444  
URL: <http://www.hpam.jp/>

【巡回情報】◎松坂屋美術館(松坂屋名古屋店 南館7階)2014年2月8日(土)～3月2日(日) ◎京都文化博物館2014年3月11日(火)～3月23日(日)



- ◎JR広島駅より約1km
- ◎広島城より約400m
- ◎市内電車(「八丁堀」で乗り換え)白島線で「縮景園前」下車約20m
- ◎広島駅新幹線口から、ひろしまいぶる～ぶ「広島県立美術館前」下車

### 割引引換券

一般 800円→700円  
高・大学生 500円→400円

・本券で当日料金より100円引  
・1枚1名様有効、他の割引との併用はできません。

### 割引引換券

一般 800円→700円  
高・大学生 500円→400円

・本券で当日料金より100円引  
・1枚1名様有効、他の割引との併用はできません。

### 割引引換券

一般 800円→700円  
高・大学生 500円→400円

・本券で当日料金より100円引  
・1枚1名様有効、他の割引との併用はできません。